

湖南省 橋梁長寿命化修繕計画（第2期） 令和7年3月 改定

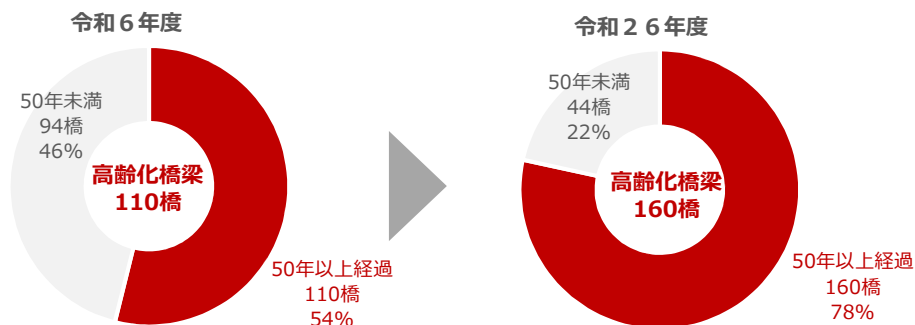
■計画概要

湖南省が管理する橋梁（橋長2m以上）は207橋（令和7年時点）であり、管理橋梁すべてを計画対象橋梁とします。計画期間は、2025年（令和7年度）から2029年（令和11年度）とし、5年間の定期点検結果を踏まえ、見直しを行うことを基本とします。

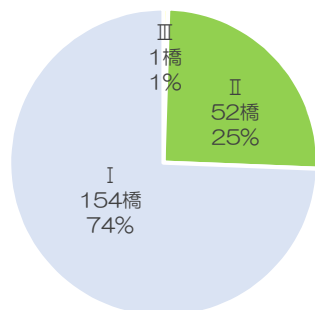
■計画の目的

架設年度がわかる204橋（架設橋梁207橋）のうち、建設後50年を経過する橋梁は110橋（54%）です。20年後には160橋（78%）に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対処療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架替えに要する費用が増大することが懸念されます。

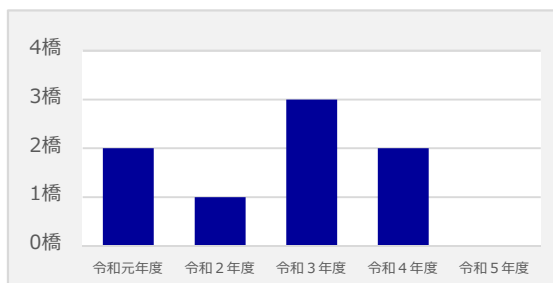


健全性の判定区分の割合



修繕措置の着手状況

令和元年度の計画策定後、計画の優先順位に基づき、健全度Ⅲの8橋の修繕工事を実施しています。



■老朽化対策の基本方針

計画の基本方針

① 予防保全型管理の推進

予防保全型の維持管理への転換により、橋梁の延命化と維持管理費（ライフサイクルコスト）の削減を図ります。また、特定年度に予算が集中することがないよう、予算の平準化を図ります。

② 道路ネットワークの安全性の確保

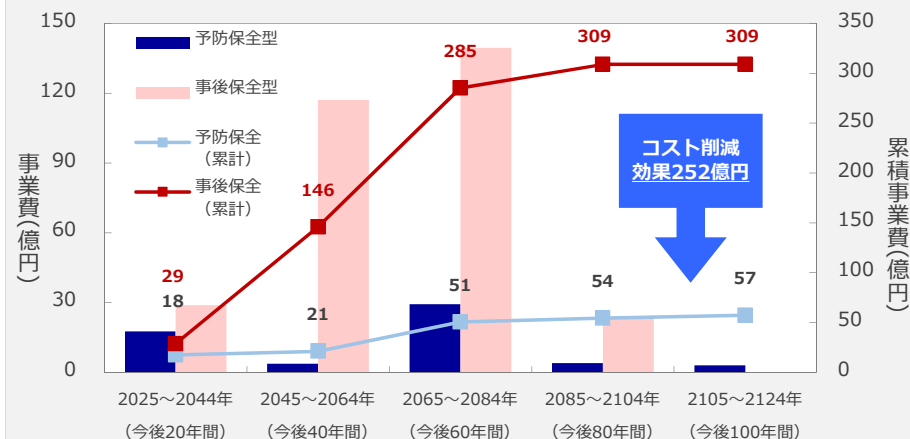
計画的な橋梁の維持管理を通じて、重要な橋梁の整備、維持管理に重点的に配分することで、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性の更なる向上を目指します。

③ 個別施設計画の策定

個別施設計画は、定期点検結果を基に策定し、毎年見直しすることを基本とします。

■長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する207橋について、今後50年間の事業費を比較すると従来の対処療法型が309億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が57億円となり、コスト削減効果は252億円と予想されます。また、損傷に起因する通行制限などが減少し、道路の安全性・信頼性が確保されます。



■優先順位の考え方

対策費用の総額が計算年度の予算額を上回る場合は、優先度評価を行い、優先順位の高い順に対策を実施します。優先度評価は、「総合評価値と諸元重要度の関係」をもとに行います。

■新技術等の活用方針及び費用削減の削減方針

① 点検

「新技術の導入検討の流れ」に基づき、点検費が高額な橋梁において、新技術等の活用により点検費の削減を目指します。

また、市職員の直営点検により、2029年（令和11年度）までの5年間で点検費のコスト削減を目指します。

② 集約・撤去

湖南省の「集約・撤去方針」に該当した橋梁が見られた場合は積極的に集約化・撤去の検討を行い、維持管理費削減を目指します。

健全度の把握及び日常的な維持管理の基本方針

① 健全度の把握の基本的な方針

定期点検（概略点検）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握します。

② 日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車による走行面の変状について点検を行います。